

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 6 回		
事 務 局	公民館貫井北分館		
開 催 日 時	平成 2 7 年 1 月 6 日 (火)		
開 催 場 所	公民館貫井北分館 学習室D		
出 席 委 員	小川委員、宮崎委員、師岡委員、吉田委員、若井委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	倉橋副理事長、伊藤副分館長、星、野津		
傍聴の可否	可	傍聴者数	
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	1 報告事項 (1) 開催終了・開催中の講座について ①きたまちゼミ ②はなみずき学級 ③四季の花づくり ④貫井北センターまつり第 1 回実行委員会 (2) 進捗状況について ①子育て・子育て支援 イライラの消しゴム ②地域の芸術活動支援 クラフトワークショップ ③市民講座 中国を知る		

	④市民講座 認知症を知る ⑤成人学校 私らしい生き方 ⑥若者コーナー a) きたまちキッチン親子編 b) きたまちキッチン若者編 c) ダンスレッスン (仮) ⑦男女共同参画講座 きたまち保育サポーター ⑧図書館連携イベント a) 百人一首かるた大会 b) ビブリオバトル 2 審議事項 (1) 来年度事業について 3 その他 (1) 東京都公民館連絡協議会 2014 について (2) はなみずき学級準備会 (3) 月刊こうみんかん 3月号 (4) 平成26年度小金井公民館三者合同研修会 (5) その他
会議内容	司会：若井 1 報告事項 伊藤：別紙の通りきたまちゼミを2日間開催いたしました。口コミで広がったのか、1日目より2日目の方が参加者が多かったです。学生だけでなく、ベビーカーを押しているお母さんも来られ、世代間のコミュニケーションが取れました。企画をした学生も参加者もお互い学び合いができました。 小川：普段公民館のロビーで学習している学生も参加し

て、教える方の学生もたくさんいました。教える側も大変勉強になったのではないかと感じました。

野津：先月はなみずき学級が無事終わりました。最終日の反省会で学級のみなさんに意見を聞いたり、アンケートを行いました。野外研修や歴史、味噌作りなどが人気あったようです。味噌作り以外に持ち帰れるような手芸や俳句等を作りたい、和の文化に関する講義を聞きたいなどの要望もありました。

若井：今後も活動が続けたいということで、自主グループができそうなことが成果だと思います。少人数だったので、みなさん仲良くなれました。

師岡：初めてだったのですが、いろいろな方とお会いできて楽しかったです。

吉田：自分一人では行けないところに行けて良かったです。

小川：最後の踊りがとても良かったです。舞踊に関する理解が深まりました。日本舞踊は初めての方が多かったみたいですが、身体を動かすことはいいですね。

倉橋：踊るということは自分を出すことなので、とても勇気が入ります。みなさん楽しそうで良かったです。

武蔵小金井駅にN I C Tの大きな時計があります。小金井市にすばらしい施設があることをもっと宣伝して行ってほしいですね。野外研修の富士山がとてもきれいでした。自主グループが立ち上がったようですが、料理だけでなく他の活動もするようにしたら、いろいろな方が参加できて良いのではないかと感じました。

若井：自主グループは中心になる人が2～3人必要で、継続していくのがとても難しいです。

小川：みなさん別れがさびしい様子でした。最低10名いればいろいろな分野の自主グループができます。

野津：今回は料理でしたが、これから立ち上げていくにあたっていろいろな問題もあります。なるべく協力していきたいです。

星：きたまちセンターの玄関の鉢植えをご覧になりましたか？四季の花づくり講座で鉢植え実習を行いました。最初に講師がそれぞれのお花の注意する点、虫、管理方法などを説明して下さったので、自宅などでも使っていただけます。現在水やり当番を決めておりません。今後は自主グループにして、お花の管理もしていただきたいです。個人で行う作業が多かったので、参加者同士の交流が今まであまりできていません。2月に意見交換会を行いますので、交流を深めていただきたいです。

宮崎：鉢植えの評判がとてもいいです。キレイって言われると嬉しいです。

吉田：お花をたくさん買いましたが、どの鉢にどの花を植えるなど設計図を描くような講座をプログラムに入れた方がいいと思いました。みなさんが対象の講座なのに、特定の方の整備作業が多くあり、企画実行委員としてどのように対応していいのか困りました。メンテナンスは班で分担するとよいと思います。

若井：あと何回ですか。

星：講座が3回で、特別野外研修が2回です。2月末で

講座は終了ですが、３月に国立の花壇見学に行きます。

野津：センターまつり第１回実行委員会が終了しました。

１８団体の申込みがありましたが、１５団体に参加いただきいただきました。実行委員長はゆかたの会代表の黒木さんで、高校生です。全体の話し合いの後、部門に分かれました。展示部門は７団体、部門委員長は小金井作文の会代表の間宮さんです。音楽部門は１１団体で、委員長は Page 代表の白鳥さんです。音楽部門はプログラムを決めました。リハーサルなど細かいことは次回の実行委員会で決めたいと思います。

星： 展示部門は今各団体に使用する備品を募っているところです。展示に人が必要か、作品の管理はどうするのか等、今後話し合いたいと思います。

小川：実行委員長は最終決定者です。公民館の役割や目的をしっかりと伝えていただきたいです。

宮崎：これから小金井を背負っていく若者です。みんなで見守っていきましょう。

星： イライラの消しゴムは１月の月刊こうみんかんに既に掲載され、市報は１月１５日号です。ホームページにも掲載する予定です。

小川：定員の２０名は増やせないのですか。

星：実習を行いますので、定員を増やすのは難しいです。

星：地域の芸術活動支援ですが、別紙の通り実施いたします。アートフェスタ出展者でご協力いただける方に３組募集したところ８組やっていただけるとのこ

とでした。せっかくの機会ですのでみなさんにやっていただくことにしました。詳細につきましては、今それぞれの講師に確認中です。2月1日号の月刊こうみんかで予告をし、2月15日号の市報で募集いたします。

星：市民講座「中国を知る」は、2月1日号で募集します。定員は60人です。講師は、中国等のアジア地区でビジネスマンとして活動していた方です。グラフや図などを使いデータ分析をし、情報を提示してくれます。

若井：非常に解説が上手な方です。

野津：市民講座「認知症を理解する」を別紙の通り開催いたします。来年度認知症カフェの開催を目指しています。

若井：認知症は地域性の問題も絡んできます。認知症に関する知識を持っていれば、周囲で理解し助けてあげることができます。

師岡：地域の公民館で、そういう知識が得られるといいですね。

野津：成人学校「私らしい生き方」は現在募集中です。定員20名のところ、現在22名です。もう少し増やせると思いますので、引き続き募集いたします。

伊藤：若者コーナーの「きたまちキッチン親子編」は募集が始まっております。定員8組のところ、1回目が2組、2回目が3組空いておりますので引き続き募集をいたします。続きまして「きたまちキッチン若者編」ですが、1月15日号に掲載いたします。チ

ラシをご覧ください。パティシエールは若者たちの人気コミックに登場します。ホームページで告知するほか、学校にチラシを配布いたします。若者による自主企画のダンスレッスンは「リズムダンス」という名前にしました。小学生はリズムあそび、中学生はリズムダンスという授業がありますので、参加者がイメージしやすいと思います。誰でも簡単に踊れるダンスです。講師はアートフェスタやはなみずき学級でもご協力いただいた、オーシャンブルーさんです。

伊藤：「きたまち保育サポーター」は募集が始まっており、定員20名のところ現在18名の応募がありました。全員女性です。応募者の中にはファミリーサポートや他の自治体の保育をやっていた方もいらっしゃいます。子育てを地域で支えていくケアの社会化を実践していきたいです。

若井：この講座を受けた方に、今後保育をやっていただけるんですね。講義だけでなく、横のつながりができ、情報交換ができますね。

伊藤：いずれは男性にも入っていただきたいです。

伊藤：図書館と連携のイベントを開催いたします。カルタ取りとビブリオバトルです。カルタは、カルタ連盟の方がいらして、着物を着てデモをしていただきます。観覧もできます。ビブリオバトルは3回目です。

師岡：ビブリオバトルはどのようなものですか。

伊藤：自分の好きな本を発表して、それを聞いた人が評価するというイベントです。今回は若者を対象にしま

したが、今回は中学生以上で、市外の参加もいいことにしました。

2 審議事項

野津：施設予約の関係で、もし4月に講座を開催する場合、この会議で話し合わなくてはなりません。取り急ぎ、地域研究、健康づくり、子育て・子育て支援について話し合おうと思いましたが、講座は5月から行うということで、今回は見送ります。

伊藤：次回までに来年度行う講座一覧を作成いたします。

3 その他

伊藤：東京都公民館連絡協議会 2014 の出席確認をいたします。小川委員と宮崎委員、吉田委員でよろしいですね。

野津：来週はなみずき学級の準備会を開催します。今年度は木曜日でしたので、来年度は火曜日にしようかと思いましたが、休館日を挟む関係で実踏の予定が組みづらくなります。月曜日を提案しようと思います。定員は40名ということだと、例えば北町ホールで運動したりすることが難しいですね。

小川：運動は2回に分ければいいと思います。

若井：講師謝礼の予算が1回分なので無理かと思います。

野津：定員に関しても準備会でお話するというにします。

伊藤：月刊こうみんかん3月号に「2014年を振り返って」という内容で企画実行委員全員で200字の原稿をお願いします。2月3日に公民館三者合同研修会を開催します。皆さん出席でよろしいですね。